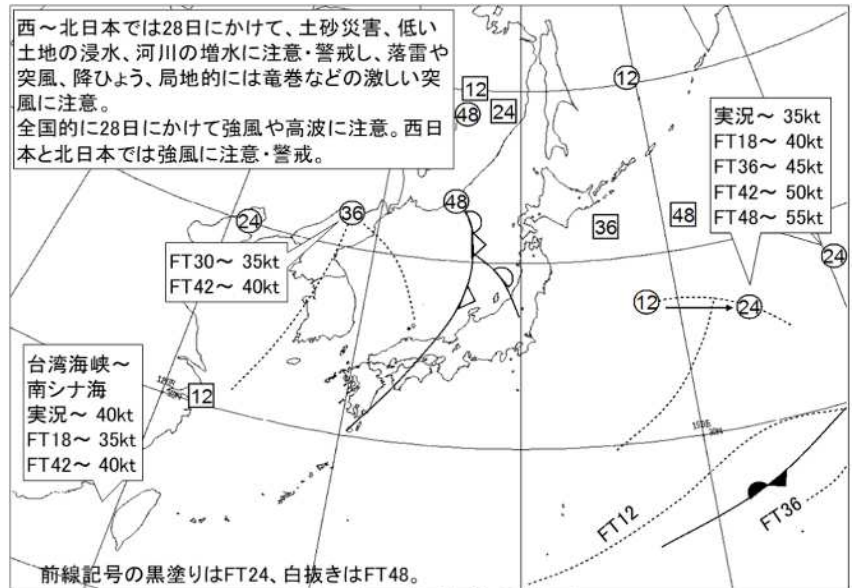


1. 実況上の着目点

① 500hPa 5520m付近で -27°C の寒気を伴うトラフが本州付近を通過中(25日21時、松江500hPaで -27.7°C を観測)。地上では、低気圧が秋田沖を東進し、前線を伴った別の低気圧が日本の東を東北東進。日本海を中心に西～北日本で活発に発雷し、強い雨や激しい雨を解析。また、強い風が吹き波が高くなっている所がある。なお、黄砂を要因とする視程の悪化は特に目立った所はない。

② 高気圧が華中を東南東へ移動。高気圧の南縁や25日21時にスル海で発生した台風第27号と高気圧との間では、気圧の傾きが大きく強い風が吹き、南西諸島では波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 26日は、1項①のトラフが本州付近を通過。秋田沖の低気圧は東北地方付近へ進んで次第に不明瞭化し、日本の東の低気圧は日本のはるか東に進む。上空寒気と低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定で、雷を伴う激しい雨が降り大雨となる所がある。これまでの雨で地盤の緩んでいる所もある。また、低気圧や前線の周辺では強い風が吹き、波が高くなる所がある。東～北日本では26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。西～北日本では26日は、強風や高波、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

② 1項②の高気圧は26日夜までに次第に不明瞭となるが、27日夜までに高気圧が華中付近で再び顕在化して28日にかけて東シナ海へ移動する。高気圧の南縁や1項②の台風と高気圧との間では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き波が高くなる所がある。南西諸島では28日にかけて、強風や高波に注意。

③ 27～28日は、500hPa 5400m付近で -30°C 以下の寒気を伴うトラフに対応する低気圧が朝鮮半島付近から日本海を通過してサハリン付近に進み、前線が西～北日本を通過する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり雷を伴う強い雨が降り大雨となる所がある。西～北日本では27～28日は、土砂災害に注意・警戒し、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。低気圧や前線の影響で強い風や非常に強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。西～北日本では27～28日は、強風に注意・警戒し、高波に注意。なお、前線通過後は、全国的に黄砂が飛来するおそれもあるが不確実性がある。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。

③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島4、その他広い範囲で3m。

④ 高潮(明日まで)：東～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。